

第2次福井市都市交通戦略

福井駅周辺地区 地区交通戦略検討部会

第1回検討会議

令和2年10月19日



福井市
Fukui City

福井駅周辺地区交通戦略について

福井市都市交通戦略（第1次）

<将来都市像>
人にやさしい「全域交通ネットワーク」と
にぎわいとやすらぎの「まちづくり」

<都市交通の目標像>
地域を軸と拠点でつなぐ「全域交通ネットワーク」づくり
～6方向の公共交通幹線軸と地域拠点の形成～

<地区別目標とサービス水準>（中心市街地部分のみ抜粋）

中心市街地地区

- ・交通の目標 ⇒ 安全快適に歩け、各方面への公共交通が便利で、クルマや自転車でも来ても止めやすい。
- ・公共交通サービス水準
⇒ 総合交通ターミナルで、いろいろな公共交通に便利に乗れる。

まちなか地区
周辺市街地
農山漁村地域

それぞれの地区で「交通の目標」、「公共交通サービス水準」を設定

↓

6つの施策

福井市交通戦略（第1次）の評価・検証

福井市都市交通戦略(第1次)での6つの施策のうちに対する達成状況の評価・検証

施策	達成状況評価・検証	課題
①南北幹線軸としてのLRT整備	福井駅西口広場への軌道延伸を実施	利用者増へのPR活動、イベント開催等
②東西幹線軸となる幹線バス路線整備	省 略	省 略
③交通結節の強化	福井駅周辺整備による総合結节点化が完了	更なる機能拡充のための施策展開
④電車・バスのICT化	省 略	省 略
⑤モビリティマネジメントの推進	省 略	省 略
⑥駐車マネジメントの推進	案内強化や電光掲示板、アプリでの駐車場検索により、駐車場利便性が向上	駐車場情報の提供や案内・誘導の強化

※上表の着色事項が「中心市街地」に関連する事項。また、施策①、③、⑥の達成状況検証及び課題については、「中心市街地」に関連する事項を抜粋。

上記に加え、さらに「社会情勢の変化」から見えてくる課題として

- まちなか地区へ人を呼び戻す
- 観光・ビジネス客の増加への対応
- など…

第2次交通戦略の施策パッケージ

- 選択性のある都市交通利用環境の構築
- 拠点への機能集積とモビリティの改善による持続可能な地域の形成**
- 公共交通機関のシームレス化の推進

- (1)福井市を支える多様な拠点づくりと公共交通ネットワーク
- (2)安全快適な生活空間を形成する地域拠点と交通利便機能を備えた乗継拠点
- (3)地域拠点に求められる都市機能、生活サービス機能の誘導等
- (4)地域拠点等におけるモビリティ(移動のしやすさの)の改善
- (5)**まちなかを快適に回遊できる環境の構築**

福井駅周辺地区交通戦略の策定

●地区交通戦略とは

都市交通戦略のうち、都市の中心部といった「まちなか」等にエリアを限定した、きめ細やかな街路空間づくりを戦略的に進めるための計画である。

すなわち、民間のまちづくり活動と呼応し、人間中心の都市空間の形成やエリアの価値向上を目指すための、「まちなか」におけるまちづくりの方向性と解像度の高い交通施策を位置づけるための計画制度である。

●福井駅周辺地区交通戦略策定の目的

福井駅周辺地区においては、土地区画整理事業等による交通結節機能の強化が図られ、多様な手法での来街が可能となったことから、快適な歩行空間の確保や動線整備、駐車場の適正配置といったハード整備とソフト施策を効果的に進めていく必要がある。

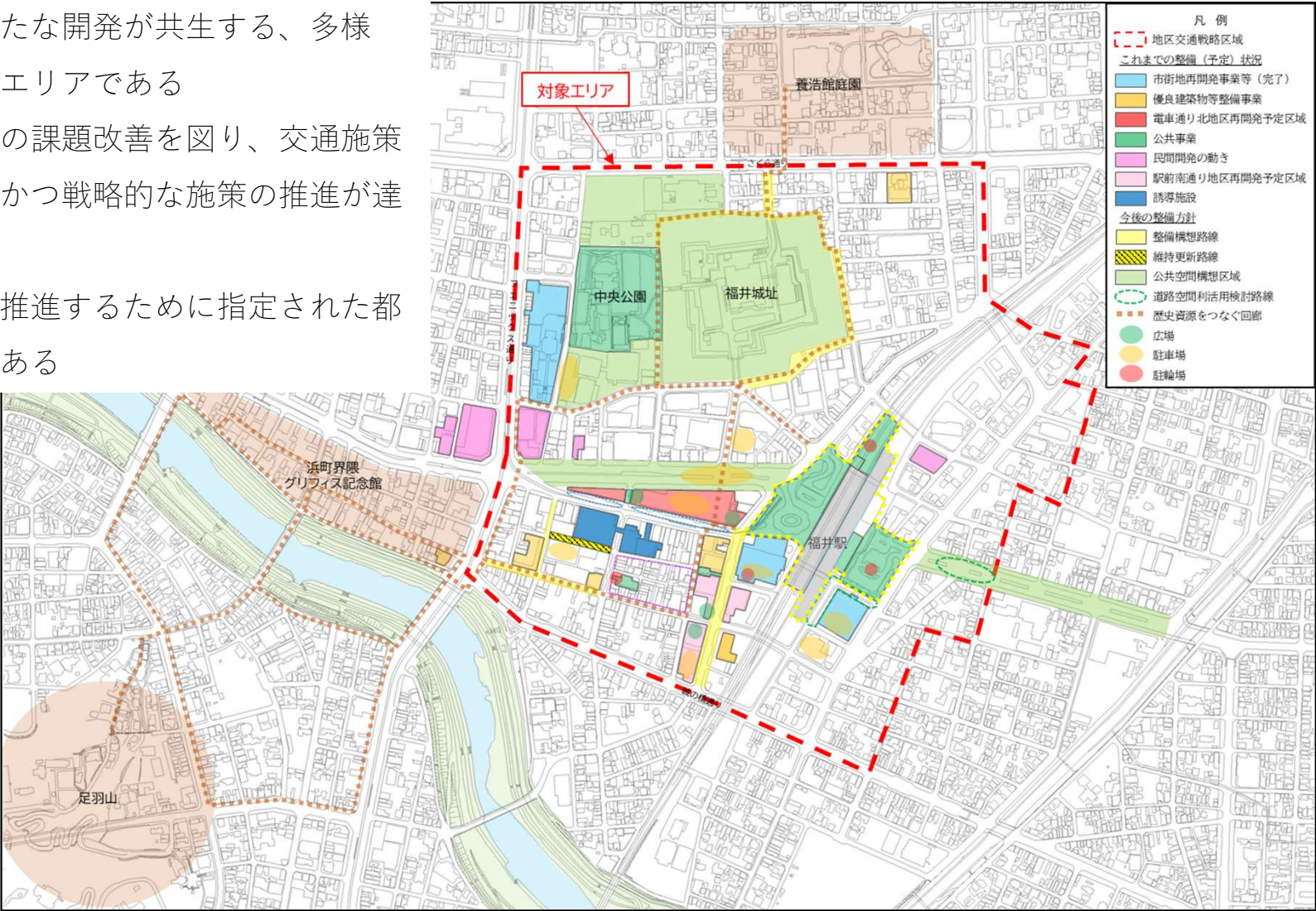
また、交通とまちづくりが連携した戦略的な交通施策の推進を図る具体的指針とするため、福井駅周辺地区交通戦略を策定する。

地区交通戦略の対象エリア

●福井駅周辺地区交通戦略の対象エリア

対象エリアは、福井駅を中心に、大手2丁目、大手3丁目、中央1丁目、日之出1丁目の一部、及び手寄1丁目の一部を含む66ヘクタールとする。(中心市街地を含む。)

- ・対象エリアは、既存の魅力と新たな開発が共生する、多様なまちづくりを多彩に展開するエリアである
- ・新たな開発とあわせて、交通上の課題改善を図り、交通施策とまちづくりが連携した総合的かつ戦略的な施策の推進が達成できる範囲である
- ・福井駅周辺地域のまちづくりを推進するために指定された都市再生緊急整備地域のエリアである



●福井市都市マスタープランでは

- ・ＪＲ福井駅を中心とした都心部は、商業・業務・行政機能などの広域的な都市機能が集積するほか、その周辺には足羽山や足羽川、福井城址や養浩館などの自然や歴史資源が豊富にあり、県都の活力を支えるための「にぎわい交流拠点」である中心市街地として位置づける。
- ・県都の玄関口にふさわしい、都市のシンボルとなるような空間を形成するとともに、にぎわいを生むための多様な都市機能を集積し、歩く視点から都市の回遊の魅力を高めていく。
- ・公共交通機関の駅機能を強化し、市民のみならず来訪者にも分かりやすく、便利な総合ターミナルを目指す。

●福井駅・城址周辺地区市街地総合再生計画では

- ・県都の顔にふさわしい魅力ある街並みへの更新
- ・にぎわいが感じられる、歩いて楽しめるまちの創出
- ・緑・水が豊かでうるおいのある憩いや交流の場の形成

これまでのまちづくりの取り組み【福井駅周辺地区・ハード①】

■ 主な事業

- 【連続立体交差事業】(H3～R1)
- JR北陸線とえちぜん鉄道の線路を高架化
 - 踏切撤去や高架下道路整備(整備箇所:6箇所)
- ↔:車道・歩道 ↔:歩行者専用
- 【福井駅周辺土地画整理事業】(H4～H30)
- 東口都心環状線や駅北通りなどの道路を新設、拡幅(2→4車線化)
 - 西口広場、東口広場の整備

福井鉄道福武線の利用促進に向けた整備

公共交通の利便性の向上及び利用促進の観点から、福井鉄道福武線の路面軌道区間にて改良整備を実施。併せて、路面軌道北端の田原町駅でえちぜん鉄道との相互乗り入れを実施。

- ・相互乗り入れ(26.9km)
- ・路面軌道区間電停改良
- ・超低床車両(LRV)の導入

事業期間 2013～2017年度

駅前線延伸と旧福井駅前電停の福井駅西口広場への移設

福井駅周辺土地画整理事業

連続立体交差事業

福井駅周辺土地画整理事業(東口広場整備)

福井駅周辺土地画整理事業(西口広場整備)

福井駅西口広場の整備により、鉄道、バス及びタクシー等の乗り継ぎに係る利便性向上を向上させるとともに、県都福井の玄関口にふさわしい、活力と魅力ある都市拠点の形成を図る。

事業期間 2014～2015年度



鉄道の高架化に併せて、福井駅周辺市街地の再整備を行い、東西市街地の一体的な高度利用、都市機能の高度を推進し、県都福井の玄関口にふさわしい、活力と魅力ある都市拠点の形成を図る。

事業期間 ～2018年度



福井駅西口中央地区第一種市街地再開発事業(ハピリン)

地区面積 約0.7ha
敷地面積 約5,600㎡
延床面積 約35,200㎡
階数 地上21階、地下2階
主な用途 商業、業務、住宅、広場、駐車場、市公共公益施設

事業期間 2012～2015年度



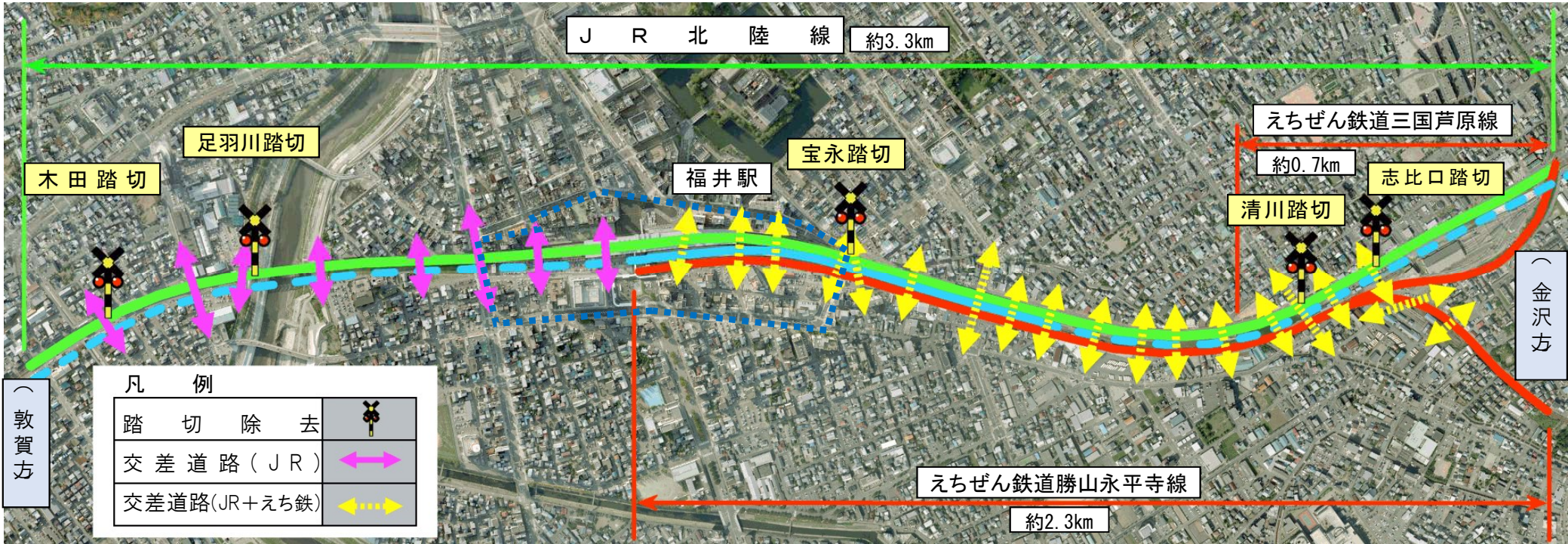
手寄地区第一種市街地再開発事業(アオッサ)

地区面積 約0.7ha
敷地面積 約4,500㎡
延床面積 約33,200㎡
階数 地上10階、地下2階
主な用途 商業、駐車場、市・県公共公益施設

事業期間 2003～2007年度




福井駅付近連立立体交差事業



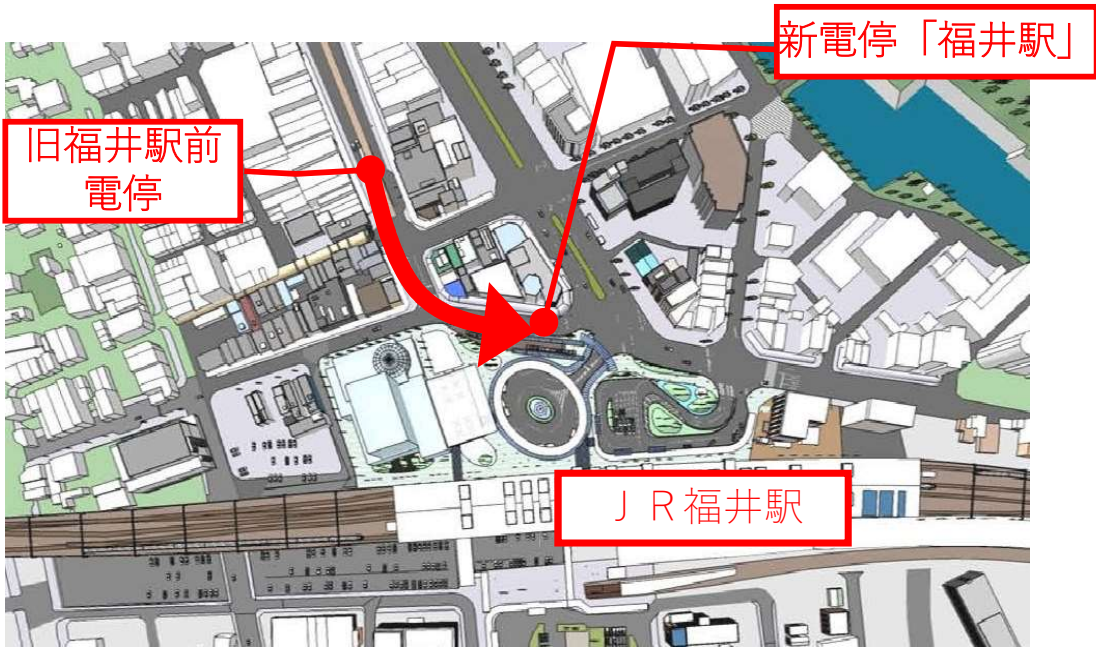
	えちぜん鉄道 (H 3 0 . 6 高架完了)	J R 北陸線 (H 1 7 . 4 高架完了)
踏 切 撤 去	2 箇所	3 箇所
交差道路整備	1 7 路線	8 路線
事業期間	平成 3 年度～令和元年度	
事業主体	福井県	

福井鉄道駅前線の延伸及び電停の移設

- J R 福井駅から離れている駅前電停から福井駅西口広場の整備にあわせて143m延伸、乗り換えの利便性を高める
- 従来の1面1線式のホームを2面2線式とし、安全な乗降とスムーズな運行を確保

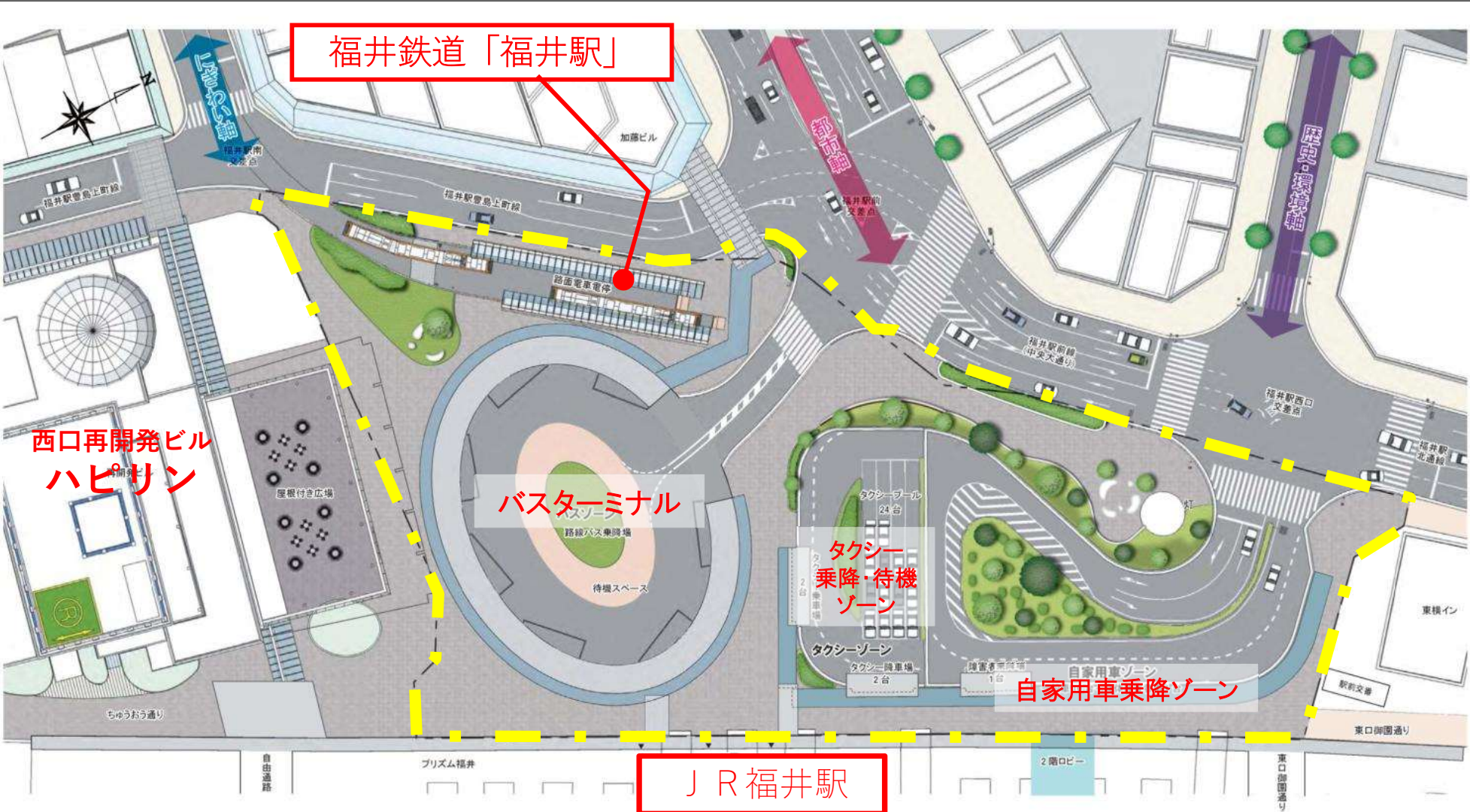


福井駅西口広場に延伸された福鉄福井駅
※停車している車両は福井鉄道のレトラム



駅前線の福井駅西口広場への延伸
(電停移設)

福井駅西口駅前広場の総合結節拠点化



○福井鉄道線の延伸により、JR、えちぜん鉄道、福井鉄道、路線バス、タクシーといった公共交通機関の乗降、自家用車の乗降が集約された「総合交通結節拠点」が完成した。

これまでのまちづくりの取り組み【福井駅周辺地区・ハード②】

■ 主な事業

【にぎわいの道づくり事業】(H11～H17)

○来街者が安全・快適に回遊できるように舗装を高質化
道路と沿道建物との一体的な景観にも配慮

【浜町通り界隈整備事業】(H20～H24)

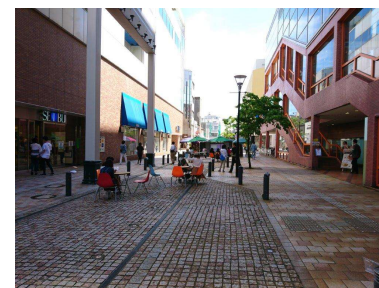
○高級感あるおもてなしの空間として整備

【グリフィス記念館整備事業】(H26～H27)

○グリフィスの功績を中心に郷土の歴史を学ぶ場の提供
まちなか散策の新たな拠点としてにぎわいを創出



賑わいの道づくり事業



グリフィス記念館整備事業



浜町通り界隈整備事業



これまでのまちづくりの取り組み【福井駅周辺地区・ハード③】



山里口御門復元整備事業

天守台跡や御廊下橋との連続性を活かし、その導線上にある山里口御門を復元した。

事業期間
2013～2017年度



中央公園再整備

福井城址

中央公園再整備事業

将来の「福井城址公園」整備に向け、県民会館跡地周辺を活かし、城址と中央公園の一体性を高める公園整備を実施。

事業期間
2013～2018年度



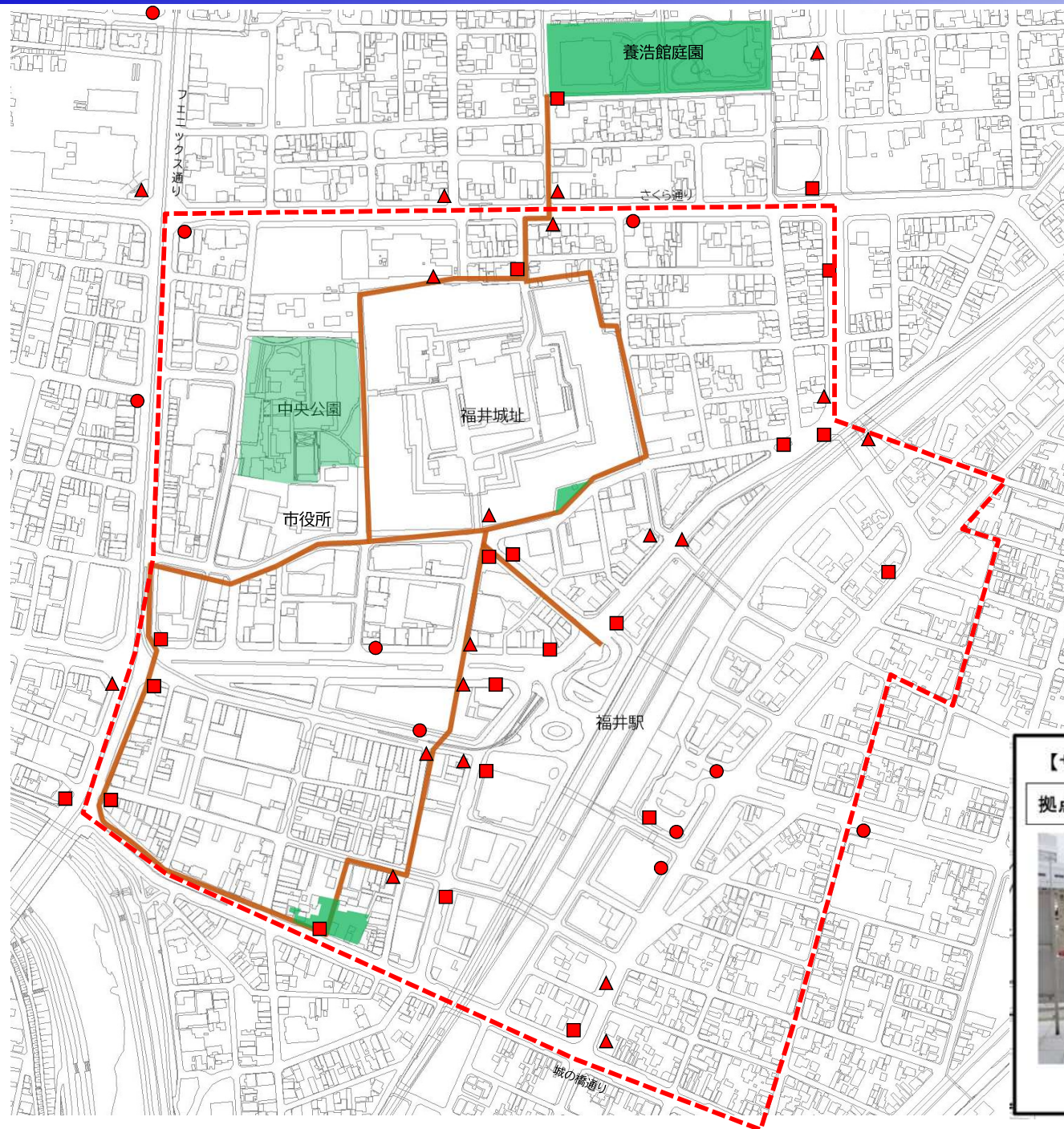
県庁線・城址周辺歩道整備事業

福井駅と福井城址、中央公園をつなぐ、道路空間を再配分し、緑陰や賑わいを楽しむことができる歩いて楽しい歩行空間を整備。

事業期間
2014～2017年度

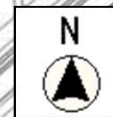


まちなか回遊をアシストする案内サイン



- 凡 例
- 歴史資源をつなぐ回廊
 - 公共サイン(拠点・複合型)
 - 公共サイン(拠点・単独型)
 - ▲ 公共サイン(誘導)





都市利便性増進協定(ソライロテラス)

(株)まちづくり福井を都市再生推進法人に認定(平成25年4月)、その後平成30年4月に福井市とまちづくり福井とで都市利便推進協定を締結。エリアの愛称を『ソライロテラス』と命名し、まちづくり福井による道路や公園を活用したイベント開催を支援している。
事業期間 2018年度～



アップルロード
(市道中央1-333号線)



ガレリア元町
(市道中央1-337号線)



ガレリアポケット
(公園)

まちなか回遊整備事業(歩行者専用道路の整備)

福井駅西口再開発ビル・ハピリンの開業を契機に、来街者が見込まれることから、店舗跡地を歩行者専用道路として整備し、まちなかの回遊性を高める。また、単なる通行機能だけでなく、空間活用を活用したイベント広場としての機能も発揮している。

事業期間
2013～2016年度



まちなか回遊整備事業(低未利用地(新栄テラス)活用事業)

民間事業者のコインパーキングを活用し、まちなかの「憩いの空間」として。休憩や飲食時に利用してもらうことにより、滞在時間の増加や回遊性の向上、地域の活性化につなげる。地元の民間組織で管理運営。PRや運営費用捻出などのため、イベントの開催や広場の貸出も行う。

事業期間
2013年度～
※社会実験
2013～2016年度



リノベーションによるまちづくり

まちなかにある空き家をリノベーションし 新たな店舗や施設として開業させ、働く場所やにぎわいを創出する取り組みを実施してきた。

これまでに13件の実績。(うち、中央1丁目では5件)

事業期間 2015年度～

※図中 ● で表示の箇所

公共空間を活用したにぎわい創出:ソライロテラス①

まちづくり福井(株)による道路、公園を活用したイベント開催を支援



愛称
「ソライロテラス」

警察、道路管理者の
手続きの一括処理、
広報等の支援を行う。

▶ オープンイベント

フリーライブや営業販促飲食フリマなど
誰でも自由に利用できます

アップルロード	全日/9時~18時
ガレリアポケット・ ガレリア元町	全日/9時~18時
鳩の御門通り	全日/13時~18時

← **ライブやフリママーケット
等の路上イベント**

▶ オープンテラス

ケータリングカーや屋台での
軽飲食販売ができます

アップルロード	全日/9時~18時
ガレリアポケット・ ガレリア元町	全日/9時~18時
鳩の御門通り	全日/13時~18時



→ **屋台、ケータリ
ングカーの出店**

**歩道空間のオープン
カフェとしての活用**

▶ オープンカフェ

お店の前の歩道をオープンカフェ
スペースとして営業利用できます

◎利用時間は各店舗の営業時間に準じます。
利用可能歩道など詳しくはお問い合わせください。



★ まちづくり福井(株) ホームページより転載に一部加筆

公共空間を活用したにぎわい創出:ソライロテラス②



アップルロード（市道中央1-333号線）



ガレリアポケット（公園）



空き店舗を活用したにぎわい創出:リノベーションまちづくり

リノベーション物件の事例

クマゴローカフェ (2016.3 元町南)

※位置図中⑥ニシワキビルにて実施

元居酒屋 ⇒ カフェ



●エリア内では5件実施 (全体では13件実施)



官民協同での低未利用地の利活用：新栄テラス

官民協同での低未利用地の利活用（平成28年度から継続中）

地元商店街を中心とした、官民協同での新栄テラスの設置・運営を実施。

〔基本方針〕

日常の「憩いの空間」として、休憩や飲食時に利用してもらうことにより、滞在時間の増加や回遊性の向上、ひいては地域の活性化につなげる。

（PRや運営費用捻出などのため、イベントの開催や広場の貸出も行う。）



これまでのまちづくりの取り組み【福井駅周辺地区・ソフト②】

駐車マネジメント(駐車場マップ)

まちなかの駐車場配置、それぞれの駐車場料金情報を網羅した「駐車場マップ」を(株)まちづくり福井が製作し、広く提供している。駐車場情報と併せて、駐車場料金割引制度などの「お得情報」もマップに盛り込んでいる。

大手エリア

福井中心市街地お得情報!
ショッピングで、映画で、駐車料金がお得!

福井市立中央図書館 駐車サービス(映画・映画館)
●本・雑誌・CD・DVD・ビデオの購入・貸出に限り、1日最大2時間まで駐車料金が半額となります。
●貸出・購入の合計金額が1,000円以上かつ、2,000円以上で駐車料金が半額となります。
●貸出・購入の合計金額が1,000円未満かつ、2,000円未満で駐車料金が半額となります。
●貸出・購入の合計金額が1,000円未満かつ、2,000円未満で駐車料金が半額となります。
●貸出・購入の合計金額が1,000円未満かつ、2,000円未満で駐車料金が半額となります。

福井市立中央図書館 駐車サービス(映画・映画館)
●本・雑誌・CD・DVD・ビデオの購入・貸出に限り、1日最大2時間まで駐車料金が半額となります。
●貸出・購入の合計金額が1,000円以上かつ、2,000円以上で駐車料金が半額となります。
●貸出・購入の合計金額が1,000円未満かつ、2,000円未満で駐車料金が半額となります。
●貸出・購入の合計金額が1,000円未満かつ、2,000円未満で駐車料金が半額となります。
●貸出・購入の合計金額が1,000円未満かつ、2,000円未満で駐車料金が半額となります。

福井市立中央図書館 駐車サービス(映画・映画館)
●本・雑誌・CD・DVD・ビデオの購入・貸出に限り、1日最大2時間まで駐車料金が半額となります。
●貸出・購入の合計金額が1,000円以上かつ、2,000円以上で駐車料金が半額となります。
●貸出・購入の合計金額が1,000円未満かつ、2,000円未満で駐車料金が半額となります。
●貸出・購入の合計金額が1,000円未満かつ、2,000円未満で駐車料金が半額となります。
●貸出・購入の合計金額が1,000円未満かつ、2,000円未満で駐車料金が半額となります。

駐車場マネジメント(電光掲示板)

駐車場の満空状況を表示する電光掲示板を、東口都心環状線及び福井駅東口広場入口に計3基設置し、来街者に対する情報提供を実施している。
※図中 ● で表示の箇所



J R 福井駅



駐車場マップ：まちづくり福井（株）ホームページより

自動車交通量の変化

福井丸岡線 (フェニックス通り)	H22 センサス	H27 センサス
24h交通量	30,064	26,930
12h交通量	22,398	20,220

御本丸大手町線	H22 センサス	H27 センサス
24h交通量	4,728	4,894
12h交通量	3,528	3,794

福井停車場線 (中央大通り)	H22 センサス	H27 センサス
24h交通量	9,936	9,508
12h交通量	7,415	7,258

福井停車場米松線 (駅北通り)	H22 センサス	H27 センサス
24h交通量	17,243	13,395
12h交通量	12,868	9,996

東口都心環状線	H22 センサス
24h交通量	14,755
12h交通量	11,350

福井加賀線 (城の橋通り)	H22 センサス	H27 センサス
24h交通量	27,025	28,166
12h交通量	20,168	20,559

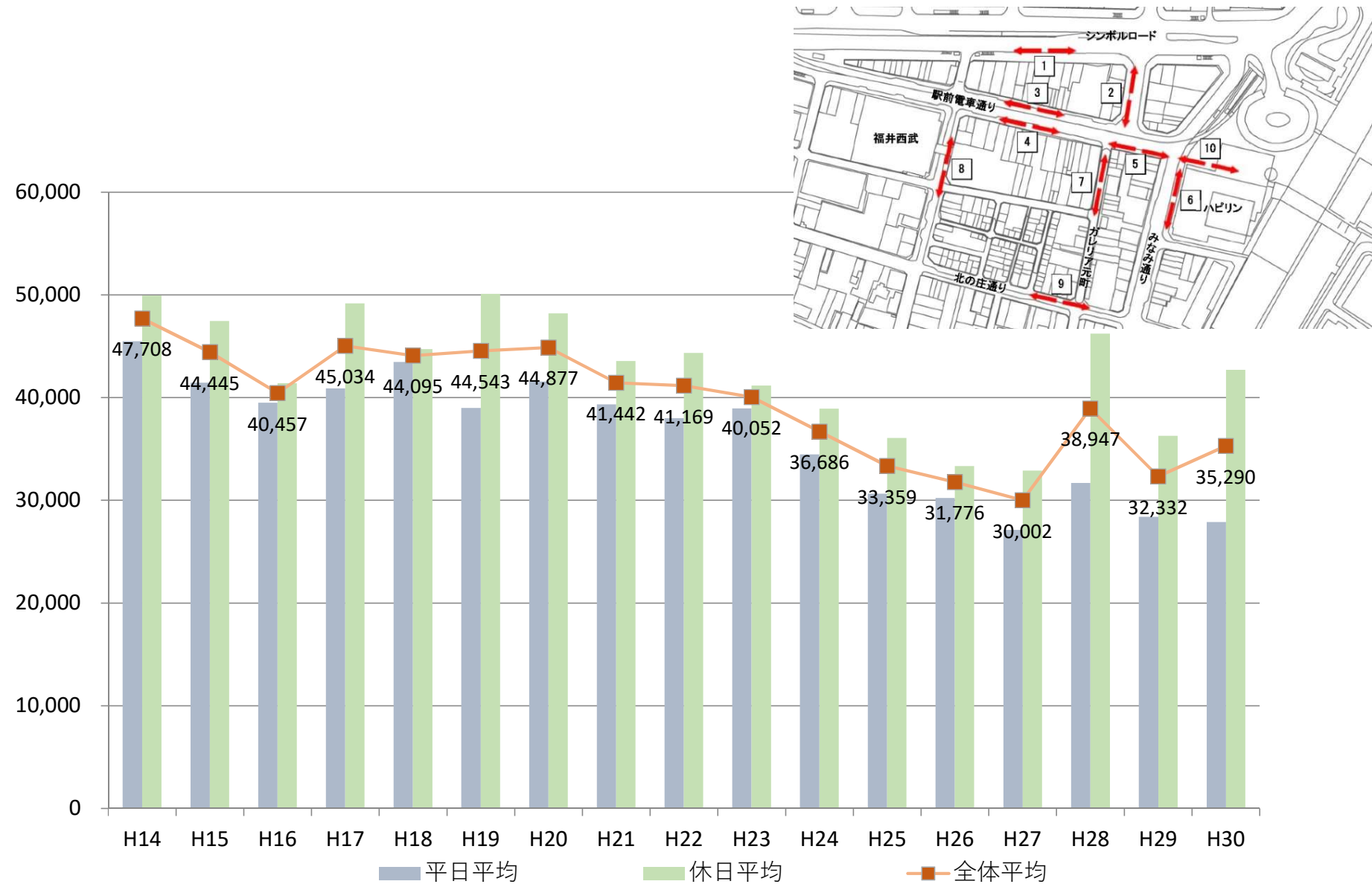
平成22年と平成27年の間での交通量の変化

○全般に、福井駅周辺地区における自動車交通量は減少傾向にあると推察

【凡例】
道路交通センサス調査地点 ●

歩行者・自転車通行量の推移

これまで減少傾向にあった通行量が、近年は増加傾向に転じている。



■ 中心市街地内の10地点における歩行者・自転車通行量(7・10月(平日及び休日)の平均)

駐車場へのアクセス動線の考え方と道路の性格付け

※ P は駐車場、C は駐輪場を示す

北西方向からのアクセス

北東方向からのアクセス

道路の性格付け（役割分担）を考える

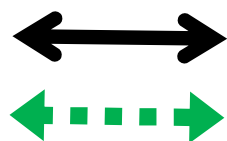
- ・ 通過交通を受け持つ路線と歩行者主体の路線との棲み分け
(特に、図中赤点線で囲まれた区域)
- ・ 車両動線、歩行者動線に加えて、自転車動線も考える

アクセスの良さと
歩いて楽しめるまちの両立に向けて

- ・ 再開発事業にて大規模駐車場を整備する
(図中黄色枠)
- ・ 各方面からのアクセスを考慮した駐車場の配置

南西方向からのアクセス

南東方向からのアクセス



車両の動線
歩行者の動線

施策検討の方向性

福井駅周辺地区の将来像

<福井市都市計画マスタープラン>

JR福井駅を中心とした都心部は、商業・業務・行政機能などの広域的な都市機能が集積するほか、その周辺には足羽山や足羽川、福井城址や養浩館などの自然や歴史資源が豊富にあり、県都の活力を支えるための「にぎわい交流拠点」である中心市街地として位置づけられている。

県都の玄関口にふさわしい、都市のシンボルとなるような空間を形成するとともに、にぎわいを生むための多様な都市機能を集積し、歩く視点から都市の回遊の魅力を高めていく。

また、公共交通機関の駅機能を強化し、市民のみならず来訪者にも分かりやすく、便利な総合ターミナルを目指す。

<福井駅・城址周辺地区市街地総合再生計画>

- ・県都の顔にふさわしい魅力ある街並みへの更新
- ・にぎわいが感じられる、歩いて楽しめるまちの創出
- ・緑、水が豊かでうるおいのある憩いや交流の場の形成

福井駅周辺地区の現状と課題

- ① まちづくりに対応し、歩いて回れる安全で快適な「歩行者ネットワーク、滞留空間」の更なる充実を図れないか
- ② 社会環境の変化や再開発を契機に、公共空間の再構築及び公共空間を活用したにぎわい創出の拡充を図れないか
- ③ 「多様なアクセスに対する受け入れ施設」の望ましいあり方を検討できないか

交通戦略目標

居心地が良く歩きたくなるまちなか

<コンセプト>

- 中心市街地に来てもらおう。
- 区域内のどこから出発しても、快適に目的地へ到達できる。
- 歩きながら中心市街地を感じてもらえる。
- 中心市街地だからできる、中心市街地にまた来たくなる。

<施策の方向性>

- 歩行環境を重視した道路整備の実施**
 - ・道路環境が整備され、来街者は安全で快適に歩くことができるようにする。
- 快適に中心市街地へアクセスできること**
 - ・まちの中心となる結節点として福井駅周辺に集まる来街者がストレスを感じないようにアクセス機能を確保する。
- まちの魅力を高める施策の実施**
 - ・多様な都市活動が展開され、福井駅周辺地区の魅力を増進するため、ハード、ソフトが連携した一体的な交通戦略を推進する。

対応する視点



①歩行者



②自転車



③ 車



④憩う機能

福井駅周辺地区交通戦略の骨格組み立て

